



宿題確かめ表

6月17日～8月25日

サイン	今週の宿題	提出
	音読 ・教科書 これまで学習したところを読み返す。 ・教科書以外の本や新聞をたくさん読む。 ・最後の週は、教科書P98～102「新聞を読もう」を読む。 音読カードは2週間ごとに提出	○
	2 漢字学習ノートP39～P42 (舍・往・肥・演・刊・暴・績)	○
	3 ワークシート 9枚	○
	4 言葉の意味調べ「新聞を読もう」	○
	5 日々のことを記録しよう 毎週木曜日までに Google Classroom に提出	○
	6 言葉と文 8枚	○
	7 都道府県を調べよう/都道府県ドリル⑪～⑳「埼玉県～長野県」 毎週木曜日までに提出	○
	NHK for school を観る 観る動画は Google Classroom から	
	8 言葉を選びすぐって夏の俳句を作ろう 2枚	○
	9 漢字のおさらい「2年生 ステージ3」3枚 「3年生 ステージ1」4枚	○
	10 漢字を読む⑪ ここから夏休み明けに読み書きテスト各20問ずつ出題します	
	11 漢字を書く⑪ 2枚 ここから夏休み明けに読み書きテスト各20問ずつ出題します	○
	12 絵日記 1枚	○
	13 読書カード1枚	○
	14 7月のカレンダーを作る(作り方はウェブサイトを見る) 6月30日までに提出	○
	15 8月のカレンダーを作る(作り方はウェブサイトを見る) 7月31日までに提出	○
	16 漢字テスト⑩ 明日6月18日までに提出	○

楡組のみなさん、

明日から日本語教室も夏休みです。10週間の夏休みの間に、これまで学習したことをしっかりおさらいしましょう。夏休み中も、教科書を読んだり、好きな本を読んだりして、音読を続けてください。

宿題の提出しめきり日

- 漢字テスト⑩は今日中に実施し、明日までに提出。
- 音読カードは、2週間ごとに提出。
- 「都道府県のプリント」と「日々のことを記録する」宿題は、毎週木曜日までに提出。
- 7月カレンダーは、6月30日まで、8月カレンダーは7月31日までに提出。
- そのほかの宿題は、8月25日までに提出(まとめて提出してもよいのですが、送るのが大変だと思いますので、終わったプリントから1, 2週間ごとにまとめて送るようにしてください。



夏休み音読カード

昨日より上手に読めたかな



よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

No.1 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

No.2 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

6月30日に提出



夏休み音読カード

昨日より上手に読めたかな



よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

No.3 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

No.4 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							



夏休み音読カード

昨日より上手に読めたかな



よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

No.5 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

No.6 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

7月28日に提出



夏休み音読カード

昨日より上手に読めたかな



よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

No.7 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	7/29	7/30	7/31	8/1	8/2	8/3	8/4
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

No.8 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

8月11日に提出



夏休み音読カード

昨日より上手に読めたかな



よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

No.9 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて							
	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

No.10 読んだ本の名前や教科書のページ 読んだ日 読みのめあて	教科書 P98～P102の 「新聞を読もう」を読む						
	8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のしるし							

8月25日に提出

カレーライス (I)

● 次の文章を読んで、答えましょう。

ぼくは悪くない。

だから、絶対に「ごめんなさい。」は言わない。言うもんか、お父さんなんか。

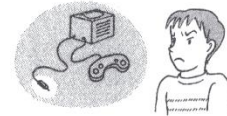
⑦「いいかげんに意地を張るのはやめなさいよ。」

お母さんはあきれ顔で言うけど、あやまる気はない。先にあやまるのはお父さんのほうだ。

確かに、一日三十分の約束を破って、夕食が終わった後もゲームをしていたのは、よくなかった。だけど、セーブもさせないで、いきなりゲーム

④機のコードをぬいて電源を切っちゃうのは、いくらなんでもひどいじゃないか。

「何度言っても聞かなかったんだから、しょうがないでしょ。今夜お父さんが帰ってきたら、ちゃんとあやまりなさいよ。いいわね。」お母さんはいつもお父さんのみかたにつく。



- (1) ⑦ ——— とありますが、お母さんはどのようなことにあきれいていますか。一つに○をつけましょう。
- () 「ぼく」が、お父さんにあやまらないこと。
- () 「ぼく」が、約束を破ってゲームをしたこと。
- () お父さんが「ぼく」にあやまらないこと。
- (2) 「ぼく」が破ったのは、どんな約束ですか。
- () は、() という約束。
- (3) ④ ——— について答えましょう。

① 「ぼく」は、お父さんがしたどんなことを「いくらなんでもひどい」と思っていますか。

② お父さんがしたことについて、お母さんはどう考えていますか。文中から六文字で答えましょう。

カレーライス (2)

● 次の文章を読んで、答えましょう。

やあだよ、と言い返す代わりに、ぼくはそばを向いた。お父さんにしかられたのは、ゆうべ。丸一日たつても「ごめんなさい。」を言わなかったのは新記録だった。

「いい。今夜のうちにあやまつて、仲直りしときなさいよ。あしたから『お父さんウィーク』なんだから、けんかしたままだとつまらないでしょ、ひろしだつて。」

毎月半ばの一週間ほど、お母さんは仕事がいそがしくて、帰りがうんとおそくなる。その代わり、お父さんが夕食に合わせて早めに帰ってくる。それが「お父さんウィーク」だ。

「お父さん、ひろしがよくないことをしたらしかるけど、ひろしのことが大好きなのよ。分かるでしょう。今朝も、『ひろしは、まだすねてるのか。』つて、落ちこんでたのよ。」

⑥ほら、そういうところがいやなんだ。ぼくはすねてるんじゃない。お父さんと口をききたくないのは、そんな子どもっぽいことじやなくて、もっと、こう、なんていうか、もっと——。

- (1) ⑦ 「新記録」とは、どんなことが新記録だったのですか。

(2) ① ——— とありますが、「お父さんウィーク」とは、何ですか。

仕事で帰りがおそくなる()の代わりに、()が早めに帰ってくる、毎月半ばの()ほどの期間。

(3) ⑥ 「そういうところ」とは、お父さんのどんなところですか。一つに○をつけましょう。

- () ひろしがよくないことをしたとき、しかるところ。
- () ひろしが口をきいてくれないと、落ちこんでいるところ。
- () 口をきかないひろしのことを、子どもっぽく「すねてる」と考えているところ。

カレーライス (3)

● 次の文章を読んで、答えましょう。

〔お父さんウィークの朝、部屋から起き出したぼくと入れかわるように、お父さんは朝食も食べずに家を出て行った。〕

食卓には、目玉焼きと野菜いためのお皿が出ていた。黄身がくずれているからお父さんが作ってくれたのだろう。朝は時間がないんだから、おかずなんか作らなくてもいいのに。目玉焼きぐらい、ぼくはもう作れるのに。

でも、お父さんは、

「火を使うのはあぶないから。」

と、オーブントースターと電子レンジしか使わせてくれない。それがいつもくやしくて、でも、お父さんがねむい目をこすりながら、ぼくのために目玉焼きを作ってくれたんだと思うとうれしくて、でもやっぱりくやしくて、そうはいってもうれしくて——。「いつてらっしやい。」を言わなかったから、急に悲しくなってきた。

(1) ア——について答えましょう。

① 「ぼく」が、「くやしく」思っているのは、なぜですか。一つに○をつけましょう。

- () 目玉焼きの黄身がくずれているから。
- () いままで「ぼく」を子どもあつかいして火を使う料理を作らせてくれないから。
- () 一度、朝ごはんを作ってみたかったから。
- ② 「ぼく」が「うれしく」思っているのは、どんなことですか。

(2) ①「急に悲しくなってきた。」のは、なぜですか。

お父さんに

カレーライス (4)

● 次の文章を読んで、答えましょう。

朝食を終えて自分の部屋にもどったら、ランドセルの下に手紙が置いてあった。

「お父さんとまだ口をきいてないの。お父さん、さびしがっていましたよ。」

絵の得意なお母さんは、しょんぼりするお父さんの似顔絵を手紙にそえていた。



① 学校にいる間、何度も心の中で練習した。

お父さん、この前は「ごめんなさい」——。言える言える、だいじょうぶだいじょうぶ、と自分を元気づけた。

「うげえつ、そんなの言うのってかっこ悪いよ。」と自分を冷やかす自分も、むねのおくのどこかにいるんだけど。

(1) ア「手紙」は、だれが書いたものですか。

(2) ①——について答えましょう。

① どんなことを練習したのですか。

と、言う練習。

② 練習する自分に対して、「ぼく」はどのようなことを自分を感じていましたか。

「ごめんなさい。」と、言える言える、

と自分を

自分と、

その一方で、

のどこかに、

「そんなの言うのって

」。

と自分を

自分。

からたちの花

からたちの花

北原 白秋

からたちの花が咲いたよ。

白い白い花が咲いたよ。

からたちのとげはいたいよ。

青い青い針のとげだよ。

からたちは畑の垣根よ。

いつもいつもとおる道だよ。

からたちも秋はみのるよ。

まろいまろい金のたまだよ。

からたちのそばで泣いたよ。

みんなみんなやさしかったよ。

からたちの花が咲いたよ。

白い白い花が咲いたよ。



上の詩を読んで答えましょう。

(1) この詩は、何行ずつ何連でできていますか。

〔 〕 行ずつ 〔 〕 連

(2) 同じ文になっているのは、第何連と第何連ですか。

第 〔 〕 連と第 〔 〕 連

(3) それぞれの連には、どんな共通点がありますか。

〔 〕 から選んで「 〔 〕 」に書きましょう。

・ 〔 〕 行目の最初が、〔 〕 とい
う言葉で始まっている。

・ 〔 〕 行目の最初が、同じ言葉の
〔 〕 になっている。

・ 一行目も二行目も、最後が〔 〕で
終わっている。

・ 五音・〔 〕 音・〔 〕 音・七音という、
同じ音の数の組み合わせでできている。

・ 一 ・ 二 ・ 六 ・ 七 ・ くり返し
・ 「よ。」 ・ 「咲いたよ。」 ・ 「からたち」

(4) からたちは、どのような植物ですか。

・ 〔 〕 が咲く。

・ 〔 〕 のとげがある。

・ 秋には、まるい 〔 〕 の
ような実がみえる。

(5) 第五連で書かれているのは、どんなことですか。
一つに○をつけましょう。

- () 〔 〕 からたちの花や実の様子。
- () 〔 〕 からたちの植えられている場所。
- () 〔 〕 からたちのある場所での思い出。

竹取物語

● 次の竹取物語の一節とその現代語訳を
読んで、答えましょう。

竹取物語

ひける。

その竹の中に、もと

光る竹なむ(ん)ひとすじ一筋あり

ける。あやしがりて、

寄りて見るに、筒の

中光りたり。それを

見れば、三寸ずんばかりな

る人、
いとうつくしうて

あたり。



〈現代語訳〉

昔、竹取の翁とよばれる人がいた。

翁は、野山に分け入って竹を取ってはいろいろな物を作るのに使っていた。名前を「さぬきのみやつこ」といった。

ある日のこと、その竹林の中に、根元の光る竹が一本あった。不思議に思つて、近寄つて見ると、筒の中が光つてゐる。それを見ると、手にのるぐらいの小さな人が、とてもかわいらしい様子ですわつていた。

(1) 「竹取物語」について説明した次の文で、あてはまる言葉は から選んで書きましよう。

「竹取物語」は、
以上前に書かれた

物語で、今は、

の

名でも知られています。現実には起こらない

ような

出来事が

書かれています。

- ・百年
- ・日常の
- ・ももたろう
- ・かぐやひめ
- ・千年
- ・不思議な



(2) 「竹取の翁」とよばれる人は、何という名前ですか。

(3) ア「あやしがりて」、イ「いとうつくしうて」の言葉の意味を書きましよう。

⑦ ア あやしがりて

に思つて

①イ
いとうつくしうて

とても様子で

(4) 竹取の翁は、竹林の中に、何を見つけて近寄つて見たのですか。現代語訳から書き出しましょう。

(5) 竹取の翁が近寄って見た筒の中には、どれぐ
らいの大きさの人がいましたか。現代語訳から
書き出しましょう。

平家物語

● 次の平家物語の一節とその現代語訳を読んで、答えましょう。

平家物語

祇園精舎の鐘の聲、

諸行無常の響きあり。

沙羅双樹の花の色、

盛者必衰の理をあらはす。

おごれる人も久しからず、

ただ春の夜の夢のごとし。

たけき者もつひには滅びぬ、

ひとへに風の前の塵に同じ。



〈現代語訳〉

祇園精舎の鐘の音は、^⑤「全ての物事は移り変わる」ということを人に思い起こさせる響きがある。娑羅双樹の花のすがたは、いきおいのさかんな者もいつかはおとろえるという道理をしめしている。おごり高ぶる人も長くは続かず、ただ春の夜の夢のように はかない。強い者も最後には滅びる。まさに風にくき飛ぶ塵と同じである。

上の平家物語の一節とその現代語訳を読んで答えましょう。

(1) 「平家物語」について説明した次の文で、あてはまる言葉を から選んで書きましょう。

「平家物語」は、平家とよばれる

の

一族が、

ゆくさまを書いた作品です

・武士 ・成長して
・商人 ・栄え減んで



(2) ア 「おごれる人」、① 「たけき者」、ウ 「ひとへに」の言葉の意味を書きましょう。

ア おごれる人

① たけき者

ウ ひとへに

(3) エ 「全ての物事は移り変わる」、オ 「いきおいのさかんな者もいつかはおとろえる」は、もとの古典の文では、どのように書かれていますか。

エ

オ

(4) 「おごれる人」も長くは続かないさまを、どのようにたとえていますか。現代語訳から書き出しましょう。

ただ

のように

はかない。

(5) 「たけき者」も最後には滅びることを、何と同じだと言っていますか。現代語訳から書き出しましょう。

塵

同じ読み方の漢字 同訓異字(6)

① か (く) 注意を く。 作文を く。

② か (う) 金魚のえさを う。 水そうに金魚を う。

③ か (える)・かえ (る) 形を える。 選手を える。 家に る。





(1) 文の意味を考えて、あてはまる漢字を書きましよう。

- ① 今年の夏は、熱い。
- ② 会場を図書館に写す。
- ③ 植物の葉を観察する。
- ④ 紙を信じていのる。
- ⑤ 算数の文章題を解く。
- ⑥ 気の会う友がいる。
- ⑦ おまけが着く本を買う。
- ⑧ 上着のボタンを留める。

(2) 次の文中の、——線の部分の漢字の使い方が正しければ○を、まちがっていたら()に正しい漢字で書き直ましよう。



同じ読み方の漢字 同訓異字(5)

① はや (く) く走る。 く起きる。

② つ (く) 目的地に く。 服にごみが く。

③ な (く) 小鳥が く。 妹が く。

④ なお (す) 病気を す。 文章を す。

⑤ き (る) パジャマを る。 画用紙を る。

⑥ あらわ (す) グラフに す。 すがたを す。

⑦ た (つ) ビルが っ。 席を っ。

⑧ はか (る) きよりを る。 重さを る。 タイムを る。

⑨ うつ (る) 座席を る。 写真に る。







● 文の意味を考えて、あてはまる漢字を書きましよう。

同じ読み方の漢字 同音異義語(6)

(1) 次の文に合う熟語を□から選んで書きましょう。

① コウイ

（ ）の先生に知らせる。
（ ）をすなおに受ける。

② コウセキ

（ ）新しい（ ）を発見する。
（ ）リーダーの（ ）は大きい。

③ コウエン

（ ）音楽の（ ）の清そう活動をする。
（ ）を見に行く。

・公園 ・鉾石 ・校医
・功績 ・好意 ・公演



(2) 次の文中の、――線の熟語が正しければ○を、まちがっていれば（ ）に正しい熟語を書き直しましょう。

① 妹の行動力に関心した。

② 目的地は以外に遠い。

③ 二学期に行事が多い。

④ 希少の変化を確かめる。

⑤ 宿題から開放される。

⑥ 陸上協議の大会に出る。

⑦ 世界初公開の製品だ。

⑧ 技術には自身がある。

同じ読み方の漢字 同音異義語(5)

● 次の文に合う熟語を書きましょう。

① シュウカン

（ ）一（ ）後にテストがある。
（ ）誌の発売を待つ。

② コウカイ

（ ）船で太平洋を（ ）する。
（ ）新製品が（ ）される。



③ キョウギ

（ ）委員長を（ ）して決める。
（ ）大会に出場する。

④ ボウフウ

（ ）林を作る。
（ ）に気をつける。



⑤ ヨウイ

（ ）作業は（ ）ではない。
（ ）習字道具を（ ）する。



⑥ キカン

（ ）電気（ ）車に乗る。
（ ）動物の消化（ ）限定商品を買う。

⑦ タイシヨウ

（ ）高学年（ ）の本を読む。
（ ）野球の試合で（ ）した。
（ ）二人の性格は（ ）的だ。

同じ読み方の漢字 同訓異字・同音異義語(2)

- ⑩ 用意した画用紙に、自信が考えた発明品の絵をかいた。
- ⑨ 校医の先生に早くみてもらったおかげで、けがはすぐ直った。
- ⑧ 国語辞典は、小学生対照のものでも厚くて重い。
- ⑦ 今日は以外に早く起きることができて、気分がいい。
- ⑥ 地しんや台風などの天災が来ないように、紙にいのる。
- ⑤ 機関車工場には、防風に備えた多くの工夫がある。
- ④ 演そう会の後、会場を他に写して楽器の体験会があった。
- ③ 一週間前にすがたを表した植物の芽がのびてきた。
- ② 希少な動物の赤ちゃんが、初めて航海された。
- ① 気の合う親友といっしょに、公園で遊んだ。



● 次の文で、使い方のまちがっている漢字や熟語の横に——線を引き、()に正しい漢字を書きましょう。

同じ読み方の漢字 同訓異字・同音異義語(1)

- (1) 次の文で、使い方のまちがっている漢字の横に——線を引き、()に正しい漢字を書きましょう。
 - ① 体育の時間に五十メートル走のタイムを測る。
 - ② おふろのお湯が暑いので、鼻にあせをかいだ。
 - ③ 大切にしていた紙がやぶれて、妹は鳴いた。
 - ④ 空き地には、新しく市民ホールが立つ予定だ。
- 

- ① 先週末に見に行ったミュージカルの公園に感動した。
 - ② 学級の全員で競技して、発表会の出し物を決めた。
 - ③ 毎月曜日に必ず本屋に行って、週間誌を買う。
 - ④ 月に一回、市民に体育館を解放する日がある。
-

101	101	100	100	100	99	99	98	98	98	98	98	頁 行
	1	6	4	2			7	5	6	1	1	
原点 げんてん	発行 はっこう	全国紙 ぜんこくし	ことなる	のる	経済 けいぎ	社会面 しゃかいめん	社説 しゃせつ	一面 いちめん	報道 ほうどう	分野 ぶんや	政治 せいじ	言葉
		全国向けにニュースを報じる新聞。 ぜんこくむ ほう			人間が社会生活の中で、物やお金を手に入れ、また、これを使うすべてののはたらき。	新聞の記事の中で、世の中の身近ないろいろのできごとを書いたページ。		新聞の第一ページ。				意味

言葉の意味を調べよう

「新聞を読もう」

言葉と文 決まった言い方をする言葉 ①

特別な意味を表す言葉(慣用語)①

二つ以上の言葉が結びついて、全体が元の意味とちがう特別な意味を表すようになった言葉を「慣用語」といいます。



おぼえよう

- 首を長くする (今か今かと待つ。)
- 首をひねる (わからないことや疑問に思ふことを考えこむ。)
- 耳をうたがう (思いがけないことを聞いて、信じられない気持ちになる。)
- 耳がいたい (自分の悪いところや弱点を言われて、聞くのがきつい。)
- 耳をすます (注意を集中して聞く。)
- 頭が下がる (相手のりっぱさに感心し、そんけいする。)
- 頭をかかえる (どうしたらよいかわからず、ひどくこまる。)

② () に合う言葉を、 から選んで書きましょう。

- (1) みごとな発表に、 (した) をまく。
- (2) () が回るほど、いそがしい。
- (3) 遠足の日を、 () を長くして待つ。
- (4) マラソンでは、だれもあきらまらずに、 () が立たない。
- (5) () をすますと、きれいな音楽が聞こえてきた。

歯・した・首・目・耳

① () から合うほうを選んで、○で囲みましょう。

- (1) 母は、あまいものには (目) が()ない。
- (2) むずかしいクイズに (首) (手) をひねる。
- (3) 父に (足) (耳) が()いたいことを言われる。
- (4) りっぱな()度()に (頭) (目) が下がる。
- (5) 交通事故のニュースに (はら) (むね) がいたむ。



③ () に合う言葉を、 から選んで書きましょう。

- (1) 大きな()板()が (目) を引く。
- (2) 欠点()をしてきかれて、 () ()。
- (3) おいしいものには () ()。
- (4) いそがしくて () ()。
- (5) 悲しい出来事に () ()。

目がない・目を引く・目が回る
むねがいたむ・耳がいたい

言葉と文 決まった言い方をする言葉 ②

特別な意味を表す言葉(慣用句)②

慣用句には、17回(34ページ)で取り上げたもののほかにも、次のようなものがあります。

話に花がさく



おぼえよう

- ねこのひたい (ねこのひたいのように、ひどくせまい場所)
- あわを食う (おどろいてあわてる)
- 図に乗る (ものが自分の思ったとおりになって、いい気になる)
- 話にならない (てい度がちがいきすぎて、問題にならない)
- 水に流す (前にあったものを、すべてなかったことにする)
- 虫が知らせる (何かが起こりそうな予感が、前もつてする)
- 馬が合う (たがいに気が合う)
- 羽をのばす (気をつかわなくてはならない人がいなくて、のびのびする)
- 気が乗らない (やる気にならない)
- さばを読む (自分の都合がよいように数をこまかす)

② 次の言葉(慣用句)の意味に合うものを選び、 から選んで、ア～オの記号を書きましょう。

- (1) 虫が知らせる.....()
- (2) 馬が合う.....()
- (3) ねこをかぶる.....()
- (4) あわを食う.....()
- (5) 気が乗らない.....()

ア おどろいてあわてる。
イ 何かが起こりそうな予感がする。
ウ やる気にならない。
エ おとなしいふりをする。
オ たがいに気が合う。

① ———の言葉(慣用句)の意味に合うものを選んで、○をつけましょう。

(1) この庭は、ねこのひたいほどしかない。

○ ひどくせまいこと。

かわいらしいこと。

(2) 図に乗っていると、かならず失敗するよ。

なまけて、何もしない。

思ったとおりになって、いい気になる。

(3) すぎたことは、水に流しましょう。

すべてなかったことにする。

まわりからじやまをする。

(4) 前のクラスの友人に会って、話に花がさく。

相手の喜びそうな話をする。

次から次へ、いろいろな話が出る。

③ ()に合う言葉を から選んで、下の意味に合う言葉(慣用句)を作りましょう。

〈意味〉

()をのばす.....
気をつかう人がいなくてのびのびする。

()を読む.....
自分の都合がよいように数をこまかす。

()を食う.....
ある場所へ行くときちうで、ほかのことをする。

()にならない.....
てい度がちがって問題にならない。

()のねどこ.....
細長く、せまい場所。

()に乗る.....
自分の思いどおりになって、いい気になる。

羽・話・道草・図・うなぎ・さば

漢字の部首①

いくつもの漢字に共通している部分を、「部首」といいます。

部分の名前
へん
イ
(にんべん) ▲部首の名前
位・億・健・候・借・信・例・仲

糸
(いとへん) …終・給・結・縄・続・約

禾
(のぎへん) …秒・種・積

イ
(ぎようにんべん) …待・役・径・徒・徳

尸
(こぎとへん) …院・階・陽・隊・阪・陸

木
(きへん) …械・機・極・材・札・枋・標

文
(のぶん・ぼくづくり・ぼくによう)
数・整・放・改・散・敗

頁
(おおがい) …題・願・順・類

川
(りつとう) …列・刷・副・別・利

力
(ちから) …助・動・勉・功

② 次の部首をもつ漢字を書きましょう。

(1) 文 …試合の勝
敗
音 …歩をする。

(2) 頁 …いがかなう。
原 …人
米 …

(3) リ …友だちと
另 …れる。
吊 …機。

(4) 力 …まじめに
免 …強する。
成 …する。

(5) 禾 …魚の
重 …類。
長方形の面
責 …

(6) イ …
建 …康な体。
あたたかな気
候 …

① 次の部首をもつ漢字を書きましょう。

(1) イ …リレーの順
位 …
一 …意
円 …

(2) 糸 …
勺 …束する。
合 …食の時間。

(3) イ …円の直
至 …
中学校の生
走 …

(4) 尸 …音楽
豕 …
壺 …上選手。

(5) 木 …工作
幾 …
戒 …
才 …木置き場。

③ 同じ部首の漢字を書きましょう。

(1) 材 …木を機
木 …で切る。

(2) 人 …
頁 …全体の
頁 …

(3) 尸 …上自えい
冫 …の訓練。

(4) 二 …
イ …年前。
イ …
康 …に気をつける。

(5) 本 …
印 …
リ …する。
リ …
わ …れのあいさつ。

(6) 朝 …
文 …
勝 …
文 …
を …決する。



漢字の部首②

20回(40ページ)のほかにも、漢字の部首には、次のようなものがあります。

部分の名前
かんむり
宮・守・定・害・完・官・察

れい
艸
(くさかんむり)：葉・英・芽・芸・菜

ヤ
(たけかんむり)：筆・箱・管・笑・節

考
(おいがしら・おいかんむり)：考・者・老

あし
(れんが・れつか)
点・照・然・熱・無

れい
心
(こころ)：悪・感・急・息・愛・念・必

たれ
广
(まだれ)
庫・庭・度・康・底・府

れい
疒
(がんだれ)：原・疔
(やまいだれ)：病

② 次の部首をもつ漢字を書きましょう。

(1) 心
…ため
息
をつく。
記
今
品

(2) 广
…健
隶
に気を配る。
川の
氏

(3) 艸
…体の器
呂
植物の観
祭

(4) ヤ
…大声で
天
う。空き
相

(5) 艸
…草の
牙
が出る。
野
采
サラダ

(6) 艸
…ゆたかな大自
然
無
事に帰る。

① 次の部首をもつ漢字を書きましょう。

(1) 艸
…公
害
問題。ビルが
元
成する。

(2) 艸
…
央
語を話す。
園
云
用品。

(3) ヤ
…ゴムの
官
竹の
即

(4) 艸
…数学
日
人の手を引く。

(5) 艸
…室内の
昭
明。高い
執

③ 同じ部首の漢字を書きましょう。

(1) 野
菜
の
ヤ
が出る。

(2) あ
の
人
は、有名な学
生
だ。

(3) 自
に
が下がった。

(4) か
ぶと虫の観
記録が、
成する。

(5) 大
い。
卒業は、人生の
目だ。

(6) く
つの
な生活。



漢字の部首③

20回・21回(40・42ページ)のほかにも、次のような部首があります。

部分の名前
 によ
 運・進・送・速・追・返
 遊・選・達・辺・連
 (しんによう・しんにゆう) ▲部首の名前

れい
 起
 (そうによう) 起
 走
 (えんによう) 建

かまえ
 (くにがまえ)
 四・園・回・国・図・固

門
 (もんがまえ)
 門・開・関

れい
 行
 (ぎようがまえ・ゆきがまえ・いく)
 行・街

② 次の部首をもつ漢字を書きましょう。

(1) 公園の周
 刀
 失敗の
 車

(2) 新しい家を
 聿
 ちくする。

(3) 試合を
 开
 始する。
 関
 心がある。

(4) 暗くなって、
 圭
 灯がともる。

(5) ねじで
 古
 定する。目が
 口
 る。

(6) 文明の
 佳
 歩。
 束
 達で送る。

① 次の部首をもつ漢字を書きましょう。

(1) 選
 挙活動。手紙の配
 幸

(2) 聿
 国記念の日。

(3) 口
 右に
 転する。
 古
 いパン。

(4) 門
 店セール。兄弟の
 関
 係。

(5) 行
 商店
 圭
 を歩く。

③ 同じ部首の漢字を書きましょう。

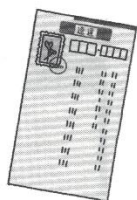
(1) 駅の周
 辺
 で配
 する。

(2) 二期
 延
 続で、
 延
 挙に出馬する。

(3) ねじを
 口
 して、板に
 口
 定する。

(4) パン屋さんを
 門
 店する。
 門
 係がある。

(5) 科学が
 延
 歩する。
 延
 達ゆう便。



言葉と文 部首の意味

部首の意味

部首には、それぞれ意味があります。



「才(てへん)」の漢字には、手や手の働きに関係のある字がたくさんあります。

おぼえよう

シ (さんずい) ……水に関係がある。
湯・波・洋・流・泣・漁・清・浅・満・浴

土 (つちへん) ……土に関係がある。
場・地・坂・塩

金 (かねへん) ……金づくに関係がある。
銀・鉄・鏡

言 (ごんべん) ……言葉や言うことに関係がある。
読・話・詩・談・調・課・議・訓・試・説

② 次のことがらに関係がある、同じ部首の漢字を書きましよう。

(1) 手や手の働きに関係がある。

野球の 手と 者。 斤り紙。

(2) 水に関係がある。

青流で水谷びをする。 浅い川。

(3) 言葉や言うことに関係がある。

会義で兄明する。 式験を受ける。

(4) 金づくに関係がある。

金や などの金づく。母の 競台。

① 次の部首をもつ漢字に関係のあることがらを、○で囲みましょう。

(1) 才 (持・拾・打) ↓ 手 土 に関係がある。

(2) シ (湯・波・洋) ↓ 火 水 に関係がある。

(3) 土 (場・地・坂) ↓ 言 土 に関係がある。

(4) 木 (板・材・札) ↓ 木 手 に関係がある。

(5) イ (体・使・働) ↓ 人 水 に関係がある。

③ 次の部首をもつ漢字は、どんなことがらと関係がありますか。□に合う漢字を、○から選んで書きましよう。

(1) シ …… に関係がある。

(2) 土 …… に関係がある。

(3) 木 …… に関係がある。

(4) 言 …… 言葉や …… うことに関係がある。

(5) 金 …… づくに関係がある。

(6) 手 …… や手の働きに関係がある。

土・木・言・水・手・金

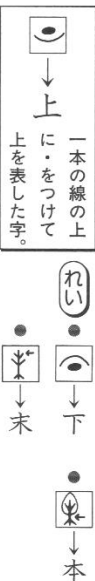
漢字の成り立ち

漢字の成り立ち（成り立ち）には、大きく分けて次の四つがあります。

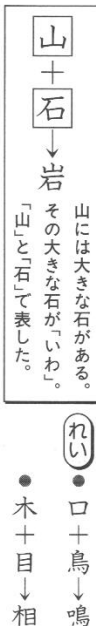
①目に見えものからできた漢字。



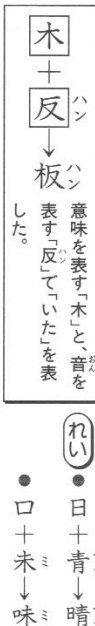
②目に見えないことから、印などで表した漢字。



③漢字の意味を組み合わせた漢字。



④意味を表す部分（部首）と音を表す部分（声旁）を組み合わせた漢字。



③ 次の成り立ちに合う漢字を、から選んで書きましよう。

(9)	(7)	(5)	(3)	(1)
				
↓	↓	↓	↓	↓

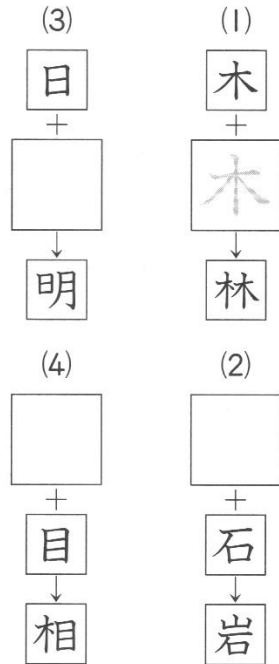
(10)	(8)	(6)	(4)	(2)
				
↓	↓	↓	↓	↓

手・火・本・角・上・末・下・子・鳥・口

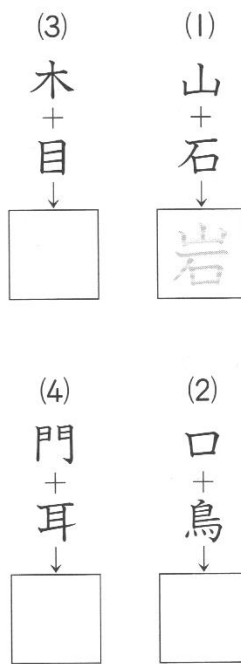
① 次の絵からできた漢字を、○で囲みましよう。



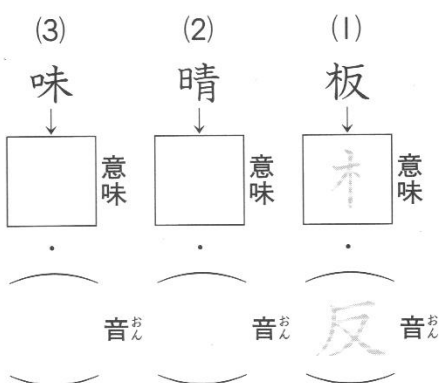
② □にあてはまる漢字を書きましよう。



④ 次の二つの漢字が組み合わせられてきた漢字を、□に書きましよう。



⑤ 次の漢字の、意味を表す部分を□に、音を表す部分を（）に書きましよう。



漢字の音と訓

漢字の読み方には、「音」と「訓」があります。

松

音：シヨウ
訓：まつ
松竹梅
松の木。



「松」の音読みは「シヨウ」、訓読みは「まつ」です。このように、訓読みで、漢字の意味がわかることがあります。

おぼえよう

良 訓：良い品物。 音：改良する。	旗 訓：旗をふる。 音：国旗。	塩 訓：塩をふる。 音：食塩。
束 訓：花束をもらう。 音：結束を固める。	養 訓：家族を養う。 音：養分をとる。	続 訓：雨の日が続く。 音：二日連続。

② — の漢字の読みがなを書きましよう。

(7) 晴天が続く。	(5) 上半身の回りの人。	(3) 大きな電波。望遠鏡。	(1) 短時間。かみが短い。
(8) 旗をふる。	(6) 先週の出来事。学校の旗。	(4) 安全運転。全く知らない。	(2) クラスの結束。花束をわたす。

① — の漢字の読みがなを書きましよう。

(5) 良い天気。	(3) 坂道が続く。	(1) 松竹梅。
(6) 旗をあげる。	(4) 家族を養う。	(2) 食塩。

③ — の漢字の読みがなを書きましよう。

(5) きれいな花束。	(4) 松の木を植える。	(3) 魚に塩をふる。	(2) 根から養分をとる。	(1) 悪いところを改良する。

言葉をよりすぐって俳句を作ろう

③

◎ 生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えよう。

俳句を読もう

作者 山口 素堂
やまぐち そどう

目には青葉 あおば 山ほととぎす はつがつお

季語 青葉・山ほととぎす・はつがつお

目にはあざやかな青葉の緑。 あおば みどり ほととぎすの声も聞こえる。 こえ

そして、おいしい初がつお。 はつ もうすっかり夏なんだなあ。 なつ



季語は一つ

右の句には、「青葉」「山ほととぎす」「はつがつお」と、夏の季語が三つ入っています。俳句には季語を入れるというのがきまりですが、一句の中に二つも三つも入っているのはよくないとされています。この句の作者は、長年俳句の勉強を重ねた人であり、よく言葉を選び、あえて季語を重ねているのです。みなさんはまだ、「季語は一つ」という原則から外れないように注意してください。

初夏の風物を三つ挙げただけの句だけれど、リズム感があって、昔から人々に親しまれている俳句なのです。



右の俳句の季語は何ですか

季語



言葉をよりすぐって俳句を作ろう

④

◎ 生活の中で気づいたことやおどろいたことを、俳句にして伝えよう。

俳句を読もう

作者 正岡 子規
まさおか しき

つゆば
梅雨晴れや ところどころに 蟻の道
あり みち

季語 梅雨晴れ

うっとうしいつゆの季節に、雨がやんだので、日の照りつける外に出てみると、まだかわいていない地面の上に、ありの行列があらこちらにできている。



五七五のリズム

・音の数え方をもう一度確認しよう

四つのルール

促音 まっすぐ 「っ」で一音

拗音 しょうがつ 「しょ」で一音

長音 コーラス 「ー」で一音

撥音 だいこん 「ん」で一音

俳句は、文字数ではなく音数で数えます。つまる音(促音)やねじれる音(拗音)のばす音(長音)やはねる音「撥音」の数え方を覚えてしまいましょう。

梅雨のあいまをぬって、働くアリに、新せんなおどろきを感じているのです。梅雨晴れというのは、梅雨の間に、ときどきみられる晴天のことです。



右の俳句の季語は何ですか

季語



漢字のおさらい 二年生 ステージ3の①

ステージ

に漢字を書いて文章を作りましょつ。

...

2 年 生

9	8	7	6	5	4	3	2	1
は	は			を	永	の		生徒を
おとつと	あさ	なつ	こく	なに	えん	なつ	やま	いん
は	は	の	の	か	に	の	に	率
ず	とり	には	きよう	つて	つ	こう	く	して
が	うた	いろいろな	か	かえ	おも	は	と	きよう
こう	うよう	かたち	しよ	る	う	人が	ほし	しつ
さく	に	の	に	のか	う	が	が	に
が	いた	くも	氏名	わす	くら	い	い	向
た	いる	が	を	れた	い	坂	だ	か
しい		出	く		道			つ
みた								く
いだ								く

18	17	16	15	14	13	12	11	10
は			は			の	に	正月
あね	の	よ	ひる	せい	じゆう	がい	ご	しょう
は	は	に	は	か	に	の	ご	に
まる	に	輝	どう	か	し	うみ	ふ	もん
が	ある	く	路	の	の	には	ぼ	の
お	大きな	せい	に	勉	え	し	かい	まえ
な	を	うん	車	で	の	が	こ	で
の	を	い	が	お	具	ある	ま	こ
に	を		が	ち	を	と	わ	ま
私	え		い	識	使	いた	した	わ
は	え		得	た	う			
面					が			
お					い			
も								
だ								

2 年 生

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19
と	で	所の	とう	おもしろい	で	の壁に	が	は必ず	と
を	球をした。	に	タワーはビルより	をした深	が草を	の壁に	せきの	を	に乗ったことがない。
って代金を		が		が	べて	が飾	から	く。	
した。		いる。	い。	が	いる。		つてきた。		

38	37	36	35	34	33	32	31	30	29
の	宇宙	の	な	が降	で	英	銀	が	が
の練習はやらない。	が出る映	にバトカーが	畑が見える。	は真っ白だ。	しい服を	を真剣に	の	いので	に
	を見た。	まった。			った。	く。	を	を閉めた。	っている。

2 年 生

48	47	46	45	44	43	42	41	40	39
雨で			の				集	夕日が	テストで
で	の	した	能があると	は	の	の川へ	所は駅の	に	
を	品を			の仕事がある。	菜は	と遊びに		たつて	がとれて最
む。	は	る。	われた。		鮮だ。		の	に輝く。	にうれしい。

58	57	56	55	54	53	52	51	50	49
決で議	の生徒は	かぜの薬を	は		な	は		関	板の
を定める。	のはちまきをつける。	と	路の上を	が港に入ってきた。	を	は	に発	に住む	
		飲む。	る。		にした。	続きの予報だ。	練習をした。	達が遊びに	が見えにくい。

漢字のおさらい 三年生 ステージの①

ステージ



□ に漢字を書きましよう。(答えは84ページ)

3年生

9 赤い	8 母の	7 駅の	6 うんどうじょう	5 いけん	4 がっきゅう	3 くら	2 あんてい	1 あくじ
やね	よこがお	ちゅうおうぐち	で体を動かす	を言う	を定める	い夜道	した収入	を働く

18 外国との	17 な用事	16 地震が	15 辺の風景	14 へ上がる	13 の国	12 積み	11 肥料を与える	10 で花を育てる
こうりゅう	きゆう	お	きし	かい	かい	に	かかく	おんしつ

27 が出る	26 を食べる	25 テレビの	24 達のことだ	23 が決まった	22 ここは	21 つり	20 の思い出	19 を始める
ち	けいしよく	ほうそうきよく	きみ	くちよう	こうぎよう	ばし	きよねん	やきゆう

漢字のおさらい
三年生
ステージの②

57	56	55	54	53	52	51	50	49	48
森の	芸人の	英語を	道の		電波を		学校の		落とし
	団					の前	材	備は万全	
		する		に出席する	信する				

3 年 生

漢字のおさらい 三年生 ステージの③

67 試合を し込む	66 タクシーに が多い庭	65 タクシーに する	64 食べ物を を書く	63 食べ物を する働き	62 お店	61 見舞いの はがき	60 有名な 品	59 有名な 品	58 貴 品
------------------	---------------------	-------------------	-------------------	--------------------	----------	-------------------	----------------	----------------	--------------

77 性がいい	76 まとめる	75 とうふを 買った	74 たなを する	73 の目	72 一歩ずつ する	71 の魚	70 を話す	69 にお願いする	68 が伸びた
------------	------------	-------------------	-----------------	----------	------------------	----------	-----------	--------------	------------

87 料理の をつける	86 先生に する	85 先生に する	84 焼き	83 サッカーの 戦相手	82 の持ち物	81 が集まる	80 車の ど	79 白い い	78 の話
-------------------	-----------------	-----------------	----------	--------------------	------------	------------	---------------	---------------	----------

3 年 生

96	95	94	93	92	91	90	89	88
野球の	プールサイドで					加の人数		
とうしゅ	こう	と しん	ふえ	にわ	ち か てつ	つ	たい ちよう	につ き ちよう
	ぶ	に住む	をふく	に池がある	に乗る		がすぐれない	を交換する

105	104	103	102	101	100	99	98	97
	荷物の				冬の		南の	えんどう
から ばこ	は い	なみ の	はな ごえ	びよう どう	と ざん	ゆ の	しま	まめ
を用意する	達	り	で歌う	に分ける		み茶わん		



110	109	108	107	106
け がわ	ひよう ざん	さか みち	ひと ふで	むぎ ばたけ
を買う	の一角	の多い町	き	に行く

漢字を読む

①①

○声に出して読みましょう。



修復	銅像	河口	許可	興味	複数	技術	理解	印象	想像	表現	心情	不格好	似合う	飼う	態度	実際	現れる	角	任す
しゅうふく	どうぞう	かこう	きよか	きようみ	ふくすう	ぎじゅつ	りかい	いんしょう	そうぞう	ひょうげん	しんじょう	ぶかつこう	にあう	かう	たいど	じっさい	あらわれる	かど	まかす
実在	述べる	原因	応じる	準備	意識	内容	所属	確か	正確	報告	質問	清潔	愛犬	貿易	入賞	移動	直ちに	点検	防災
じっさい	のべる	げんいん	おうじる	じゅんび	いしき	ないよう	しよぞく	たしか	せいかく	ほうこく	しつもん	せいけつ	あいけん	ぼうえき	にゅうしょう	いどう	ただちに	てんけん	ぼうさい
桜	日常	俳句	可能	貸す	禁止	生物	計測	省略	混雑	混む	新幹線	過ごす	直接	構成	適切	留学	支える	丸太	西部
さくら	にちじょう	はいく	かのう	かす	きんし	なまもの	けいそく	しょうりやく	こんざつ	こむ	しんかんせん	すごす	ちよくせつ	こうせい	てきせつ	りゅうがく	ささえる	まるた	せいぶ
			功績	暴風	週刊誌	公演	肥料	往復	校舎	武士	厚い	総合	停留所	設置	調査	酸素	資料	古典	順序
			こうせき	ぼうふう	しゅうかんし	こうえん	ひりょう	おうふく	こうしゃ	ぶし	あつい	そうごう	ていりゅうじょ	せっち	ちようさ	さんそ	しりょう	こてん	じゅんじょ

漢字を書く

⑪のー

夏休み明けのテスト⑪に出題する漢字です。
線ーの漢字は送り仮名も書きましょう。



⑫ ぎじゅつ	⑪ りかい	⑩ いんしょう	⑨ そうぞう	⑧ しんじょう	⑦ ぶつこう	⑥ にあう	⑤ かう	④ たいど	③ じっさい	② あらわれる	① まかす
⑭ せいけつ	⑬ ぼうえき	⑫ にゅうしょう	⑪ いどう	⑩ てんけん	⑨ ぼうさい	⑧ しゅうふく	⑦ どうぞう	⑥ かこう	⑤ きよか	④ きょうみ	③ ふくすう
⑮ ささえる	⑭ じつぎ	⑬ のべる	⑫ げんいん	⑪ おうじる	⑩ じゅんび	⑨ いしき	⑧ ないよう	⑦ しよぞく	⑥ せいかく	⑤ ほうこく	④ しつもん

漢字を書く

⑪の2

夏休み明けのテスト⑪に出題する漢字です。
線一の漢字は送り仮名も書きましょう。



① りゅうかく											
② てきせつ											
③ こうせい											
④ ちよくせつ											
⑤ すごす											
⑥ しんかんせん											
⑦ こんざつ											
⑧ しょうりやく											
⑨ けいそく											
⑩ きんし											
⑪ かす											
⑫ かう											
⑬ はいく											
⑭ にちじょう											
⑮ さくら											
⑯ じゅんじょ											
⑰ しりょう											
⑱ さんそ											
⑲ ちょうさ											
⑳ せっち											
㉑ ていし											
㉒ そうごう											
㉓ あつい											
㉔ ぶし											
㉕ こうしゃ											
㉖ おうふく											
㉗ ひりょう											
㉘ こうえん											
㉙ しゅうかんし											
㉚ ぼうふう											
㉛ こうせき											

俳

★夏休みに読んだ本のしょうかい

名前

本の題名

作者

感想・おすすめの理由

★表紙や印象に残った場面の絵をかくて色をぬりましょう。

★夏休みの絵日記

上には、絵をかいて、色をぬりましょう。

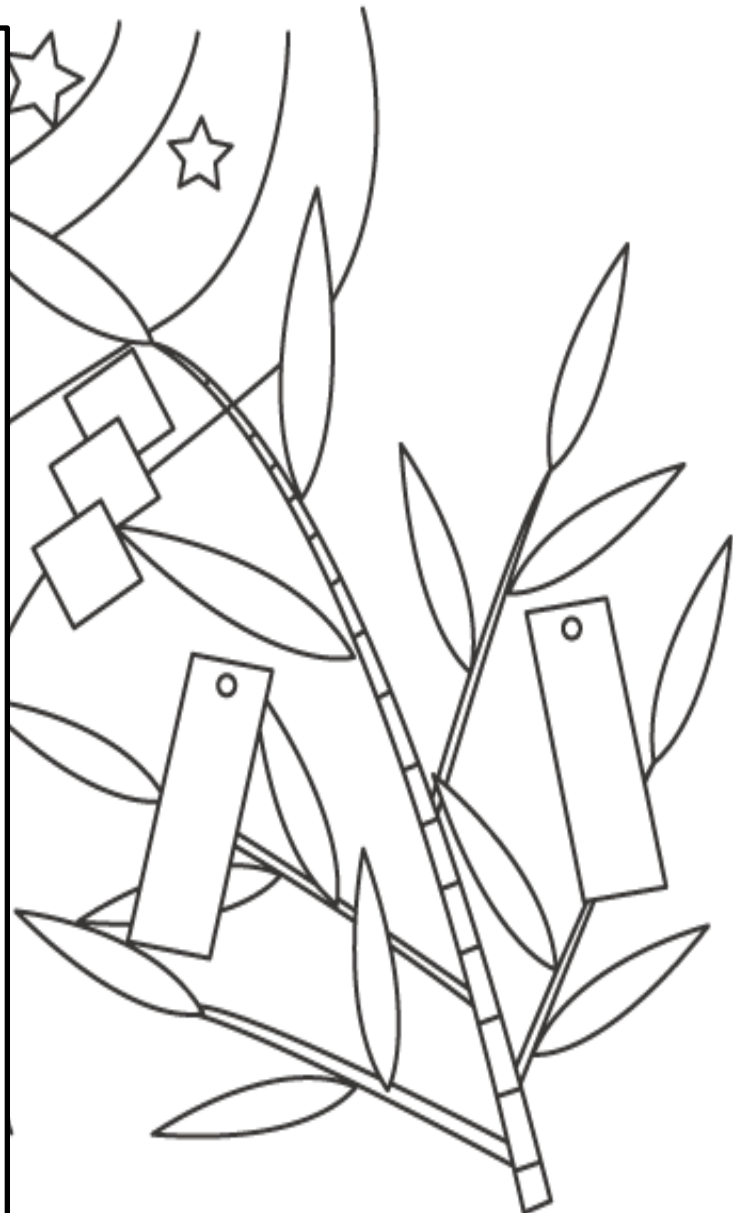
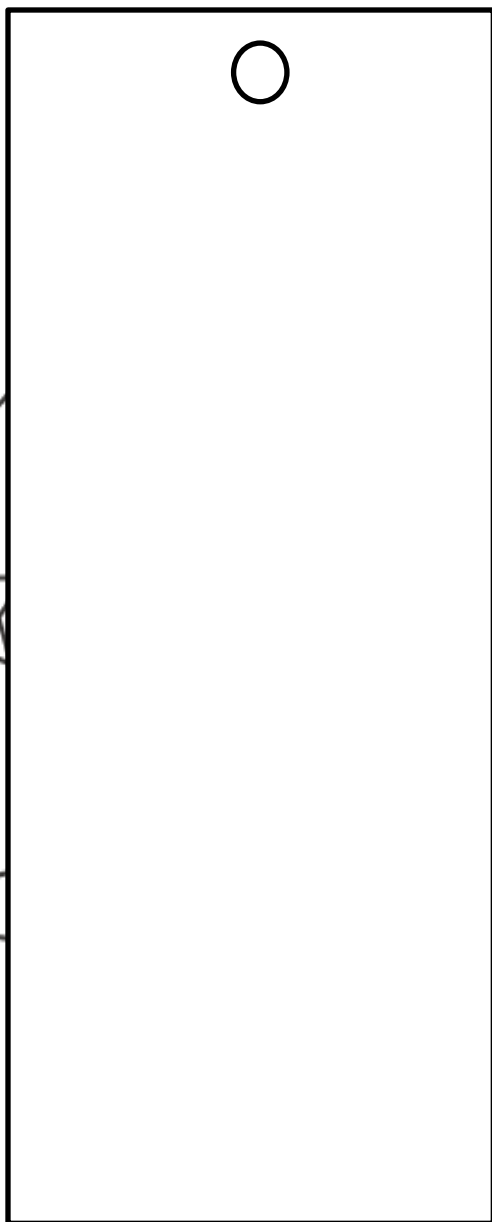
月

日

曜日

楡組
名前

7 月



日	月	火	水	木	金	土

8 月

日	月	火	水	木	金	土